

促成アスパラガスにおける伏せ込み床の目土の厚さが収量・品質に及ぼす影響

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

野菜 - アスパラガス - 作型・栽培型、品質・食味

2 担当者

芳賀紀之・鈴木宏和

3 要旨

促成アスパラガスにおける安定生産技術を確立するため、伏せ込み床の目土(覆土)の厚さが収量・品質に及ぼす影響について検討した。

- (1) 目土(覆土)には籾殻堆肥を用い、目土の厚さとして、5cm、10cm、15cmの区を設けた。その結果、総収量、規格内収量に差は認められず、目土が厚いほど、AM級の収量が減少し、AL規格の収量が増加した(図1)。
- (2) 目土が厚いほど平均地温が高く、土壌の含水率が高い傾向があった(表1)。
- (3) 以上のことから、目土の厚さは、鱗芽付近の環境条件が好適となり、AL規格の収量が多くなる、15cmが適すると考えられた。

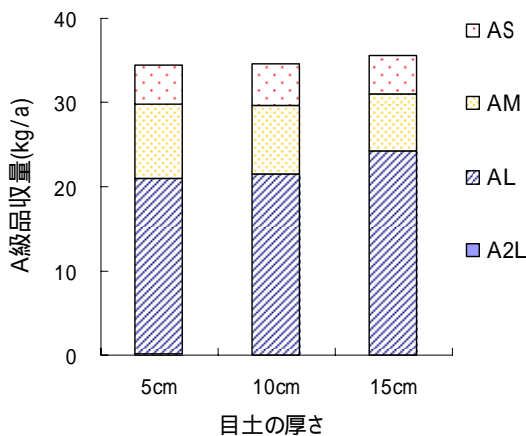


図1 目土の厚さ別の規格別収量(A品)

表1 平均地温と土壌含水率

| 目土の厚さ | 平均地温 ^z () | 土壌含水率(%) | |
|-------|--------------------------|----------|------|
| | | 2月25日 | 3月7日 |
| 5cm | 17.7 | 14.0 | 12.2 |
| 10cm | 18.9 | 16.4 | 15.7 |
| 15cm | 19.4 | 17.0 | 17.1 |

^z地温は、鱗芽付近(5cm、10cm、15cm区は、それぞれ地表から5cm、10cm、15cm)で計測。地温の計測期間は、1月4日～3月5日。

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成19、20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2007、2008)